



## 来年へ向けての 土づくり 畠編

2019年は年号が平成から令和へと変わるなど様々な変化がありました。残すところあと僅かです。来年の作物のために準備を始めている方、まだ始められていない方など様々ではあります。今回は土づくりの注意点についてご紹介したいと思います。土づくりは重労働で、なかなか目に見えるような効果を実感しにくい作業が続きます。しかし、一定の収量を維持しながら、より良い品質の作物を作るためには、土づくりによる地力の増強と適切な施肥が基本であり、重要となってきます。

**深耕とは**

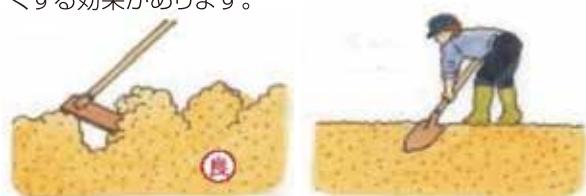
深耕は土と水と空気のバランスを良くするために行います。  
①1cmの厚さの土壤は1反あたり約10tになります。つまり1cm深く耕すだけで植物が利用できる土壤が大きく増えます。  
②深く耕すことでき生物の働きを良くする  
③地中に酸素を送り込み、微生物が減ります。

**土に混ぜる有機物を**

堆肥などの有機物を用することは地力を良くするための有効な手段です。  
①土が柔らかくなり、水分はどうが良くなります。  
②養分がゆっくりと長く効くようになります。  
③作物に良い微生物が増えるため、悪い微生物が減ります。



冬の間、耕した土を小山のようにした状態で風化させると、土の通気が良好になり病害虫や雑草を少なくする効果があります。



1~2年に1回くらいは30cm以上深く耕します。

土に堆肥などの有機物を入れてよく耕します。

## 土づくりのやり方

この図はタキイ種苗の園芸新知識に掲載されたものから改変。原図:板木利隆

## 第4期「農業講座中級編」(果菜類) 受講生募集中!

JA大阪北部では野菜栽培や病害虫の防除に関する知識を習得し、直売所へ出荷する意欲のある方を対象に、「農業講座中級編」を開講いたします。

### 講座内容の例 (予定のため変更する場合があります)



接ぎ木苗づくり



もみがら堆肥づくり



農業機械の整備点検

募集対象者 : JA大阪北部の組合員又はその家族であること。

募集人数 : 15名程度

開催日時 : 令和2年1月～令和2年9月(全8回)

開催場所 : JA大阪北部細河支店会議室ほか

受講料 : 10,000円 (テキスト代及び研修に伴う諸費用を含む)

申込締切日 : **令和2年1月10日(金)**

申込方法 : 各支店及び能勢営農経済センターに備えつけている『受講申込書』に必要事項を記入のうえ提出して下さい。

実習多めです!

